

こんにちは 森林官です!

左端が本人

十勝西部森林管理署 東大雪支署
糠平森林事務所
首席森林官 柴田 誠



糠平森林事務所は大雪山国立公園に位置し、約2万ヘクタールの国有林野を管理しています。隣接する三股森林事務所の森林官とも連携し合っており、計4名で日々の業務に当たっています。

○ 豊富な観光資源

当森林事務所が所在する上士幌町ぬかびら源泉郷は、来年の四月で開湯百周年を迎える伝統ある温泉地です。また、キャンプ場やスキー場、北海道遺産であるタウシユベツ橋梁など多くの観光資源を有しています。

○ 管内国有林の情報

キャンプ場やスキー場として国有林を貸付しており、各種レクリエーションの場として親しまれています。

ウペパサンケ山は、例年登山者で賑わいますが、平成28年の台風被害により、現在は



スキー場から望む糠平湖

登山道に通じる林道を閉鎖しています。

タウシユベツ橋梁に通じる林道は、通常は施設しており、通行される方には、東大雪支署にて鍵の貸し出しを行っております。貸し出す数に制限を設けていますが、安全管理のためです。ご理解願います。

○ 森林の中での仕事

森林の中で各種調査や森林の見回りなどを行います。

調査には木の種類や直径・高さを記録し、森林蓄積を算出したり、自然災害による森林の被害状況を把握するなど、様々なものがあります。木の直径を測る輪尺、枝や藪を切り払うナタやノコなど、調査では山の現場らしい道具が多く登場します。

森林の見回りは常に行っており、森林の現状把握や異常の発見に努めています。貴重な野生動植物との出会いもささやかな楽しみです。



輪尺で直径を測る

森林内での仕事は、刃物使用による怪我、ハチやヒグマとの遭遇など、多くの危険が伴うため、毎朝ミーティングを行い、一日の業務の流れと安全事項を確認してから出発します。また、単独での作業は行わないよう徹底しています。



冬：調査地へ向かう

○ 地域とのかかわり

糠平小学校で行う森林教室では、森林の魅力を伝えるとともに、私たちも子供たちから元気をもらっています。その他、地元の方からの要望や相談に対応するなど、地域とのかかわりを特に大切にしています。

○ おわりに

平成28年の台風により、管内の森林においても大きな被害を受けました。今後地域

の皆さんの声を聴きながら、できる限り早期の復旧を行っていきます。また、木質バイオマス利用の高まりを受けた未利用材の活用など、新たな取組にも積極的に挑戦していきます。

私たちの仕事は森林を歩き、森林を知ることから始まり、今後仲間と協力し合い、森林への知識と愛着を深めながら、適切な森林管理に努めていきます。



糠平小学校での森林教室



夏：調査地へ向かう